

スカウト兵庫

2019→2020冬
No. 12

特集
“オーストラリア交換留学生”
“ウェルカム桃園”
“日韓スカウト交歓計画”

兵庫ローバース
21st Australian Rover Moot、Rover Café 2019

トピックス
JOTI、全国防災キャラバン、カブラリー

コミッショナー通信

地区活動紹介

神戸地区 くまキャンプ

はりま地区 ボーイ隊合同活動





Australia Scouts International Student Exchange Program

オーストラリア・スカウト連盟からの交換留学



本年度は、以下3名のスカウトを受け入れることができました。これもホームステイを受け入れてくださいましたご家庭、兵庫県立高校の先生方はじめ多くの皆様方のおかげとこの場をお借りしてお礼申し上げます。

A ホームステイ先とオーストラリアスカウト

1	山口あき VS	Ruby Buetefuer	2019/11/25~2020/1/11 (48日間)
2	西山ことみ VS	Evelyn Greener	2019/11/25~2020/1/11 (48日間)
3	島満里奈 VS	Emma Perry	2019/11/30~2020/1/11 (43日間)

B 受入スカウトのことば (以下すべて抜粋です。)

今回、このプログラムでオーストラリアスカウトのホストスカウトをさせていただきました。私が感じたこと、おもしろかったことなどについて書きたいと思います。読んでいただくと嬉しいです。

まず始めに学校生活です。私のクラスでは、ベジマイトというオーストラリアの発酵食品をみんなに食べてもらいました。なんと、一人しかおいしいと言わなかったのですが、みんなで楽しく食べてくれたと思います。また、合唱コンクールがあったのですが、菅田将暉さんの「まちがいさがし」を一緒に歌いました。その結果、クラスは8クラス中1位という成績でした！オーストラリアスカウトのルビーはとても歌がうまいのでそのおかげだったのだと思います。(もちろん、カラオケも行きました！)

学校の通学中にはお互い日本語と英語を教えあいました。そこでは、英語にない言い回しが多く、説明する難しさを痛感しました。彼女とは色んなところに遊びに行きましたが、即興で劇をしたり、新しい言葉を作ったりと、日本の友達とはあまりしないようなこともできて楽しかったです。常にどう伝えようか考えるので、英語もすこし鍛えられました。6週間という期間で、文化や価値観の違いもあり、楽しいことばかりではなかったけれど、何よりエマと出会えて本当に良かったです。お互いボーイスカウトであったからこそ知り合えた関係をこれからも大切にしようと思います。次は、もっと英語を勉強して私がオーストラリアに行きたいです。

受入のご家庭での生活

敬虔なカトリック教徒の家庭に育ち、毎週日曜日の朝は教会に行くとの事。色々な予定があり、受け入れ期間中は、2度しか連れて行ってあげられませんでした。そして金曜日は肉が食べれない日との事。最初は慣れずに、弁当に肉類を入れてしまったり、料理に肉を使ってしまいました。自己紹介の写真がスクリーンで映っており、思い切って理由を聞いたところ、学校の先生の子供さんが血液のがんの為、募金を集める為に髪を剃ったとの事でした。

オーストラリア・スカウトのトイレについての感想

Toilets. Ok you basically hear this from any exchange student or tourist that comes to Japan, but toilets are one of the biggest difference Japan has to many countries. Not only do they achieve the functions any toilet should do, but, Japan goes above and beyond by adding extra flourishes to really set them apart from any other country. Now I was already prepared for buttons that do extra... stuff (I also didn't press any because they are very intimidating). But what I was not ready for was seat warmers. In Australia, you get greeted with a cold toilet seat; especially in winter. There is no debate to be had. . . .



「ウェルカム桃園に参加して」

尼崎第26団 ボーイ隊ふくろう班班長
岡川 颯夏

私は今回の Welcome 桃園で台湾の方々とは2回目の交流となりました。昨年3月、桃園を訪れた時は勇気がなく、自分から話し掛けられませんでした。今回の交流は2回目ということもあり、積極的に自分から話掛けたり、UNO ゲーム等をして、一緒に遊ぶこともでき、交流が深まりました。



昨年、台湾桃園スカウトとの交流時に感じたこと思ったことは、世界中のスカウトが私達と同じように、「ちかい」と「おきて」の実践をしていることから、国が異なってもスカウト仲間であることを忘れてはいけなかつたと思いました。また私たちを快く歓迎して頂いたことへの感謝の気持ちを忘れてはいけなかつたと思いました。

このときの経験が無駄にはできないと思ひ、今回の活動では自分のやれることを精一杯やってみようと思ひました。

「おもてなし」の心を大切にされたので事前準備では、ウェルカムボード、レプリカを手作りで製作しました。

このようなことを感じることでできたのは、台湾に行くだけでなく日本にお迎えして、2日間と短い期間ですが活動に参加できるからだと思ひます。

歓迎のためのお手伝いは短い時間でしたが、台湾のスカウトが楽しんでいる様子を見て、とても嬉しい気持ちになりました。

今後もこのような活動があれば積極的に参加していきたいです。ありがとうございました。



「台湾スカウト交流会 感想」

伊丹第11団 ベンチャー隊 菅 仁優

今回の交流会をして感じたことは、一番感じたことは、文化の違いです。特に気になったのは、お風呂に関することです。大浴場に入る際、補助要員として行った時にお風呂に入るときどうして良いかわからない様子で、なぜかと思ひて話を聞いてみると、台湾は風呂に入る習性は無く、基本個別のシャワーなので人前で裸になることがないことが原因でした、それらのことを英語で説明するのがとても難しく、自分は頭があまり良くないので英語が分からずどのように伝えたらよいのか悩みましたが、少しの英単語とジェスチャーで説明しました。そのジェスチャーで台湾スカウトは、無事にお風呂に入れました。勢いと気持ちがあれば言語の壁は、ある程度こえられることもわかりました。台湾の人たちは、ノリがよくとてもやりやすかったです。夜の交流でもすぐ仲良くなり、とてもフレンドリーということがわかりました。二日目の雪中ハイクは、当初、暖冬のせいで雪がないので、できないといわれていましたが、なんとか雪が降りできるようになり、安堵しました。みんな楽しんでいたので準備してきてよかったです。

台湾に行き交流をした「ミートイン台湾」、台湾の人達が来て交流する「welcome 桃園」と2年連続参加していろいろな交流をし、台湾とのキャンプファイヤーの違いなどを学ぶことができて他では、体験できない貴重な体験ができて楽しかったです。最初は、不安があったりもしましたが県連のサポートもあり、とても快適にすごすことができるので、世界ジャンボリーよりは、気楽にいけるので次あるミートイン台湾に行き、海外スカウトとの交流をすると楽しいと思うのでいろいろなスカウトにも行ってほしいと思ひました。

日韓スカウト交歓計画

本年は40名の韓国派遣隊を迎えて大阪にて9日間のプログラムが開催されました。

うち3日間は日本のVSと「SDGs」についてのフォーラムを通し交流しました。また、4日目には兵庫各地を回る「HYOGO Challenge」も実施され交流20周年の節目にふさわしい盛り上がりでした。

ここでは3日間のスカウト交流プログラムに参加した、2名のスカウトの感想を中心に紹介します。



私は今回、様々なスカウトと交流したいと思ひプログラムに参加しました。英語には自信がありませんでしたが、積極的に話しかけ、最大限の英語力とジェスチャーを駆使したおかげで、期待していた以上の交流ができました。もしも受け身に徹してしまっていたら、韓国のことでもよく知れず、友達も増えなかつたと思ひます。今後もボーイスカウトの恵まれた環境を活かして意欲的に活動を行いたいです。

阪神さくら地区 西宮第25団
ベンチャー隊 米原 冴侑



あの日からもう2週間も経つたと思ひられない私がいいます。最初は英語できるかなとか、仲良くなれるかなと不安でした。でも優しい方々ばかりで不安が楽しさになりました。韓国スカウトが覚えた日本語や翻訳機などを使って私に伝えようとしてくれた姿をとて覚えていて、ここまで話そうとしてくれているんだと感動しました。

来年も絶対チャンスをつかんで参加したいです。

阪神さくら地区 西宮第2団
ベンチャー隊 舛田 和香奈

兵庫ローバース

県連ユース委員会 | 兵庫ローバース | No.04



21st Australian Rover Moot

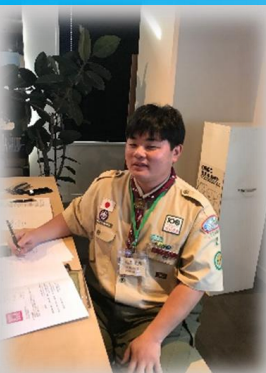
西宮第25団 赤松佑香

2019年12月28日～2020年1月12日まで、オーストラリアで行われた第21回アジア環太平洋ローバームートに参加してきました。期間中、参加者はエクスペディションごとに分かれ、プログラムに参加します。私はMarcopoloというエクスペディションに参加しました。そこでは、各自マスコットを持参して写真を撮りながら観光地を回ったり、決まっているテーマにそった夕食会が毎日ありました。また、森林火災の支援物資仕分けのボランティアもしました。さらに、4年前に参加したオーストラリア派遣のホストファミリーにも奇跡的に再会することができました。今回オーストラリアでは大規模な森林火災が起こり、ローバームートも途中で中止になってしまいました。予定外の事がたくさんあり大変でしたが、とても良い経験になりました。



Rover Café 2019 に参加して…

伊丹第2団 立道真樹



今回初めてRovercafe2019の明石会場、西宮会場どちらにも参加し、改めて「そなえよつねに」の大切さを身をもって体験する良い機会となりました。

HRSに出会ったきっかけは兵庫連盟が開催する就職セミナーでHRSの代表に声をかけてもらったことでした。以降、定例会をはじめとする活動に参加するようになり、本気で活動に参加している方々をみて、自分も励みになりました。これからもHRSの活動に参加したいと思います。



輝くユース世代 vol. 03

ここでは県内のユース世代(18～30歳)の活躍する「ひと」を紹介します。

vol.03は第24回カブラリー実行委員会プログラム部長 湊啓太さんです。

第24回カブラリーを実施して

自分自身プログラム部長としてかかわらせていただきましたが、改めて兵庫県内の指導者・ユース世代の前向きなエネルギーが凄いなと思いました。前回よりも2か月ほど遅れての実行委員会開始でしたが、とにかく楽しみにしているスカウトのために開催までみんなが全力で取り組みいいカブラリーが実施できました。

ユース世代として印象に残った活動

第23回、第24回のカブラリーです。大きなラリーを成功させたこともそうですが、実施中や帰りの時にカブスカウトが凄いい笑顔だったのがとてもうれしかったです。

今後の目標

色々な方に指導していただき一層よき指導者としてレベルアップしていきたいです。また第25回カブラリー実行委員会にかかわりたいと思います。

最後にひとこと

神戸55団の顔といえば富永CS隊長ですが、神戸55団の「熱男」といえば湊ぐらいになるように気合・根性・全力前進で頑張りますのでご指導よろしくお願いします!(^~!)



湊 啓太 (28)
神戸地区
神戸第55団 CS隊副長
今回の役務・・・プログラム部長

JOTIに参加して

尼崎第26団 ポーイ隊長 黒田 茂

今年も JOTI にボーイ隊スカウトたちと参加しました。今年は去年の反省から、1泊2日での対応としました。北米や欧州のスカウトと交信するには、夜の遅い時間帯でなければ、交信することができません。また、当日までに、JOTI 参加のための手続きや、Skype の設定など、約1カ月前から準備を行う必要があります。これらのことをしっかりと準備することで、スカウトたちが JOTI を通して、多くの海外スカウトと交信し楽しむことができます。スカウトたちも、画用紙にクイズを書いたり、英語でのあいさつを練習したりと、やはり1カ月前から準備を進めていました。その甲斐があり、英国と米国のスカウトと交信することができました。彼らは12歳～15歳です。中学生です。こちらも小学6年～中学2年で対応しました。海外スカウトと会話することに興味があるスカウトは積極的に英語にチャレンジしていたことが良かったと思います。JOTIに参加してひとりでも多くのスカウトが海外スカウトと会話することで、世界を意識できるようなスカウトに育ってくれればと思います。JOTIは良い機会だと思います。是非皆様も参加してみませんか。



全国防災キャラバン

開催日・会場

2019年11月24日(日)
イオンモール 神戸南 (神戸地区)

「全国防災キャラバン2019」開催

～スカウトが万が一に備えて日頃の活動で身につけたスカウトスキルを提供～



地域の子どもとその家族を対象に災害時に役立つボーイスカウトの知識やスキルを提供する「防災キャラバン」がイオンモール(株)、行政等の協力のもと、11月24日(日)イオンモール神戸南で開催されました。

「災害に役立つロープ結び」「災害時に役立つ応急手当」「ブルーシートで作る担架」「ブロック塀積み上げゲーム」のプログラムで、504名の来場者に楽しみながら日頃の防災意識を高めるきっかけ作りを提供しました。

神戸地区を中心に奉仕者は48名。無事、大盛況の開催となり皆様、ご協力をありがとうございました。





兵庫連盟カブラリー



令和元年11月4日 須磨浦公園、須磨海浜公園を中心に「ジャングルブック」～シェア・カーンのいたずら～をテーマに兵庫連盟第24回カブラリー開催！！



カブスカウトのみなさんへ
カブラリーどうでしたか？ 楽しかったかな？
組集会で、たくさんがんばって練習したことでしょう。
当日は、約1,000人のお友達と指導者のみなさんが参加してくれました。
これからもカブスカウトがんばって下さいね。村人より



関係者の皆様

準備から当日まで忙しかったと思います。
スカウトのために楽しい活動を提供して下さり、ありがとうございます。
この場を借りて感謝申し上げます。



第24回カブラリー実行委員会 委員長 梅田 華奈



コミッショナー通信



県連盟副コミッショナー
池田 好信

所属 川西第1団 団委員
座右の銘 「我志一路」

素晴らしい経験を！

スカウティングの中で、「野外活動」が中心とされているのはなぜでしょう。大自然の中に身を置き、自身の役割を果たしながら仲間と共に困難に打ち勝ち、更なる高みを目指すことができる機会を数多く経験することだと思います。ゲームやハイキング、キャンプを通して成長できる活動を展開したいものです。

さあ、愉快的活動の始まりです。

「経験値」こそ「判断力」の源であると思います。



県連盟副コミッショナー
富永 和也

所属 神戸第55団 カブ隊長
座右の銘 “Best the best”

わくわくドキドキするスカウトプログラム

ストーリー、背景を駆使して、謎がたくさんあり、スカウトが楽しくてしかたがないプログラム作りを日々研究していることもあり、県連ではインダバ、カブラリーのプロデュースを担当しています。スカウトプログラムで大事なポイントは、わくわくドキドキするプログラムを楽しく体験しながら、スカウト達が自然と成長していく「仕掛け」をどれだけ組み込めるか・・・ということだと考えています。

スカウトが「行きたい！！」と思うプログラムと一緒に考えていきましょう！！



地区活動紹介



神戸地区

神戸地区 くまキャンプ

10月13日(日)～14日(月) 神戸市立洞川教育キャンプ場

神戸地区では、各団合同での「くまキャンプ」を実施しています。3回目となる令和元年度は、10月13～14日の一泊二日、神戸市立洞川教育キャンプ場に、くまスカウト約50名が集まり開催しました。

参加したくまスカウト達は、8つの組に分かれ、1つの隊として活動を実施します。そして、このキャンプには毎回ゲストが登場！今回のゲストは、先祖が地球に隠した宝物を探しに、遠く宇宙からやって来た客人。くまスカウト達は、自炊した食事や練習した歌で、客人をオ・モ・テ・ナ・シ。そして翌日にはお楽しみが…。



くまスカウトが、大人数での活動や他団スカウトとの交流を経験することで、地区内に多くの仲間がいること、ボーイ隊に上進すると同じように一緒に活動する機会があることを知ってもらいました。また、カブ隊の指導者にとっては、プログラムの作成を他団指導者との実行委員会で実施することで、プログラム作成プロセスを改めて学ぶ機会となっています。

解散後、くまスカウト達が、11月に開催予定の県力ブラリーで再会を約束する場面を多く見掛けました。今回のキャンプで得た絆を、是非長く持ち続けて欲しいと思います。

はりま地区

はりま地区 ボーイ隊合同活動

西脇第3団 ベンチャー隊長 南陽一 はりま地区の北部に位置する6個団でボーイ隊の合同活動を行っています。

どこの隊も規模が縮小する一方で活動に支障をきたしている中、友隊が自発的に合同活動を取り入れることにしました。

まず、そのなかでどの隊も自力での5泊の野営は難しいとの話がありGWに5泊6日の野営をはじめとして、その後も1泊の野営を2回実施しました。



スカウトだけでなく指導者もコミュニケーションを重ねるうちにたくさん意見が出るようになり、よりよい活動にするために熱意をもって取り組んでいます。

初年度は各隊の年プロとは別の活動ですので大変でしたが各々の隊の強みを活かし、原隊だけでは実現できなかった活動ができただけでなくスカウト、指導者共に大きな発見と成長がありました。

まだまだ課題も多いですが、スカウト、指導者共に来年度も合同活動を続けるよう進んでいます。

事務局ニュース

◇ 令和2年度兵庫連盟定時総会開催のご案内

日 時：令和2年5月17日(日) 13:00~16:30
 会 場：神戸クリスタルタワー3階 クリスタルホール
 神戸市中央区東川崎町1-1-3 (JR神戸駅南側すぐ)

◇ 第19回兵庫連盟合同野営大会(Hyocam2020)

テーマ：「ウッドクラフト～スカウト野営の実践～」
 会場：ろくろしの森キャンプ場
 期間：令和2年8月5日(水)～8月10日(月)
 参加者：ボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウト
 及び指導者、大会本部役員など
 ※ビーバースカウト、カブスカウト隊の見学は、事前申込とする。



◇ Hyogo High Adventure Challenge 2020 (HHAC2020)

会場：ベース基地「ろくろしの森キャンプ場」
 期間：HHACは参加申込時点に始まり8月10日(月)を以て終了する。
 事前研修 3月29日(日) 神戸
 事前訓練 5月2日(土)～4日(月・祝) 六甲山
 直前集会 7月19日(日) 神戸
 山岳トレッキング 8月4日(火)～9日(日)



◇ 兵庫連盟創立70周年記念活動振興大会事業延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況に鑑み、参加者の皆様の安全を考慮した結果、やむなく延期とさせて戴くことになりましたので、お知らせ致します。

テーマ：「もっと広げれ 兵庫県下のスカウトの輪」
 日 程：令和2年9月13日(日) ※小雨決行
 会 場：県立明石公園陸上競技場 きしろスタジアム
 明石市明石公園1-27 (JR・山陽明石駅北側)
 ☆詳細は実施要項にてお知らせいたします。



◇ スカウト用品棚卸しのため休業のお知らせ

2020年2月20日
 日本ボーイスカウト兵庫連盟

日	3/23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3	4	5	6	7
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
事務局	休日	勤務日	勤務日	勤務日	勤務日	勤務日	休日	休日	勤務日	勤務日	勤務日	勤務日	勤務日	休日	休日	勤務日
スカウト用品	休日	宅配受付	休業	宅配受付	通常通り(対面販売)	通常通り(対面販売)	休日	棚卸の為、休業	棚卸の為、休業	休業	宅配受付	通常通り(対面販売)	通常通り(対面販売)	休日	休日	宅配受付

※棚卸のため令和2年3月30日(月)～31日(火)は、販売業務を行いません。

※E-mail又はFAXでのスカウト用品のご注文は、常時受け付けますが注文への返信・問合せ・配送は、4月2日以降とさせていただきます

令和元年度

富士章・隼章・菊章

取得者を紹介します。



西宮第25団
 姫路第16団

富士章

前号～現在

土井 駿斗
 藤原 弥侑

以上：2名



神戸第55団
 猪名川第1団
 神戸第8団
 伊丹第3団

隼章

前号～現在

中村 仁奈
 谷川 詩恩
 金吉 真敬
 櫻木 貴仁

以上：4名



篠山第1団
 姫路第16団
 姫路第16団
 姫路第16団
 姫路第16団
 尼崎第14団
 神戸第15団
 宝塚第5団
 宝塚第5団

菊章

前号～現在

山本 康暉
 岩瀬 颯人
 岩瀬 颯樹
 平田 真一郎
 坂見 杏奈
 青柳 有沙
 北山 光徳
 隅谷 友輔
 羽石 大樹

以上：9名

年間取得者数

富士スカウト章：6名

隼スカウト章：16名

菊スカウト章：26名

おめでとうございます。弥栄!!

編集後記

△編集集に携わっていますと、各地区の皆さん
 の頑張り様がよくわかって自分達も負けてい
 られないなと思います。これからスカウ
 ト達の頑張りをご覧ください。できればよい
 なあとお思います。
 西播地区 加野 泰裕
 △今号もたくさんの方の笑顔の活動をご紹介でき
 たかと思えます。次号も乞うご期待下さい。
 神戸地区 三上 里香
 △新型コロナウイルス感染症の影響で活動が
 制限されていますが、こんなときこそゆっく
 りと、本誌にて各地区の活動をご覧下さい。
 寄稿戴いた皆さま、ありがとうございます。
 はりま地区 下門 篤弘